

- 問1 平安時代に「かな（仮名文字）」が作られ、広く普及したことが、当時の日本の文化に与えた影響として最も適切な説明はどれですか。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 中国の進んだ政治制度や仏教の教典を、より正確に日本国内へ紹介することが可能になった。
 2. 朝鮮半島から伝わった新しい印刷技術と結びつき、庶民の間で学問が急速に普及した。
 3. 日本人の感情や思いを表現しやすくなり、物語、随筆、和歌などの日本独自の文学が大きく発展した。
 4. 武士が戦場での出来事を素早く記録するための実用的な文字として、東国を中心に広まった。
- 問2 1185年に、現在の山口県下関市付近にある本州と九州の境目の海域で行われた、源氏と平氏による最終決戦の名称として正しいものを選びなさい。（2019年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 壇ノ浦の戦い
 2. 屋島の戦い
 3. 一の谷の戦い
 4. 長篠の戦い
- 問3 平安時代中期、遣唐使の廃止に伴い、それまでの唐の影響を消化した上で、日本の風土や生活、日本人の感情に合わせた独自の文化が発達しました。この文化が形成された背景と特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 島根県公立入試 類似）
1. 聖武天皇による国家鎮護の思想に基づき、大陸の最新技術を用いた大規模な寺院建築が中心となった。
 2. 日宋貿易の拡大によって、禅宗の影響を受けた簡素で静かな美しさを尊ぶ文化が形成された。
 3. 唐の衰退により直接的な交流が減少したことで、日本独自の美意識に基づいた表現が重視されるようになった。
 4. 平氏の政権掌握により、武士の力強さや素朴さを強調した新しい文化が京都を中心に広がった。
- 問4 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた「国風文化」が発達しました。この時期に普及した「かな文字」を用いて執筆された、紫式部による文学作品として適切なものはどれですか。（2018年 埼玉県公立入試 類似）
1. 古事記
 2. 源氏物語
 3. 枕草子
 4. 日本書紀
- 問5 藤原道長が、「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることもなしと思えば」という歌を詠んだ時期の背景として、最も適切なものはどれか。（2016年 千葉県公立入試 類似）
1. 律令制度が崩壊するなかで、独自の新しい法律を制定し、天皇に代わって直接国を統治するようになった。
 2. 自らの三人の娘がそれぞれ天皇のきさきとなり、摂政・関白として権力の絶頂に達していた。
 3. 源氏や平氏といった武士の台頭を抑え込み、貴族だけの平和な世の中を維持することに成功した。
 4. 末法思想が広まり社会が不安に包まれるなか、極楽浄土へ行ける確信を得たことを感謝した。
- 問6 11世紀半ば、社会の乱れとともに仏教の教えが衰える時代の到来を恐れる「末法思想」が広まり、阿弥陀如来を信じて死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰が盛んになりました。この信仰に基づき、当時の摂政・関白の権勢を背景として京都の宇治に建立された建築物として正しいものはどれですか。（2018年 岡山県公立入試 類似）
1. 聖武天皇が国家の平安を祈って全国に建立を命じた、壮大な伽藍をもつ国分寺
 2. 親鸞が念仏を唱えることで救われると説き、各地に広まった浄土真宗の本山寺院
 3. 足利義満が金閣を建立したことに代表される、武家文化と公家文化が融合した北山文化の建築
 4. 極楽浄土の宮殿を模して造られ、阿弥陀如来像が安置された平等院鳳凰堂
- 問7 894年に、唐の国内情勢の混乱や往復する航路の危険性を理由として、遣唐使の派遣が停止されました。この政策転換を主導した人物と、その後発達した日本独自の文化の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）
1. 小野妹子 — 飛鳥文化
 2. 最澄 — 弘仁・貞観文化
 3. 菅原道真 — 国風文化
 4. 阿倍仲麻呂 — 天平文化
- 問8 京都の宇治に現存する平安時代の代表的な文化財について、その外観や特徴を説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2025年 群馬県公立入試 類似）
1. 藤原頼通が建立した阿弥陀堂で、中央の堂の左右に翼を広げたような回廊を配した左右対称の構造を持ち、正面には極楽浄土を模した池が広がっている。
 2. 最澄が比叡山に建立した寺院の中心的建築であり、当時の学問と修行の拠点として、後の鎌倉新仏教の開祖たちを多く輩出した。
 3. 鎌倉時代に重源が再建した建築物で、屋根を支えるための複雑な組み物が特徴であり、門内には力強い表情をした金剛力士像が安置されている。
 4. 藤原清衡が建立した建物で、堂の内部から外部に至るまで金箔で覆われており、東北地方における浄土信仰の広まりを象徴している。
- 問9 平安時代の仏教に関する記述のうち、最澄と彼が創始した宗派について正しく述べているものはどれですか。（2019年 三重県公立入試 類似）
1. 唐から帰国後、比叡山に延暦寺を建立して、天台宗の教えを広めた。
 2. 遣隋使とともに中国へ渡り、日本で初めてとなる本格的な仏教の戒律を伝えた。
 3. 全国を行脚して治水工事や橋の建設を行い、庶民から「行基」と慕われた。
 4. 唐から帰国後、高野山に金剛峰寺を建立して、真言宗の教えを広めた。
- 問10 日宋貿易を推進した人物と、貿易の拠点となった港、および主な輸入品の組み合わせとして正しいものはどれか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
1. 足利義満 — 堺 — 銅銭
 2. 平清盛 — 大輪田泊 — 宋銭
 3. 北条時宗 — 博多 — 鉄砲
 4. 源頼朝 — 敦賀 — 勘合
- 問11 奈良時代には『万葉集』に見られるように、漢字の音や訓を日本語の表記にあてはめた「万葉仮名」が使われていましたが、平安時代になると、漢字を簡略化するなどして日本独自の文字が作られました。この文字が普及したことで、人々の感情や生活を細やかに表現できるようになった日本独自の文化を何と呼びますか。（2019年 長野県公立入試 類似）
1. 国風文化
 2. 飛鳥文化
 3. 天平文化
 4. 弘仁・貞観文化
- 問12 中世の日本において、現在の青森県に位置し、アイヌの人々との交易の拠点として大きく栄えた港町はどこですか。岩手県の平泉を拠点とした奥州藤原氏とも深い関わりがあったとされる場所を、次のうちから選びなさい。（2016年 茨城県公立入試 類似）
1. 堺
 2. 博多
 3. 敦賀
 4. 十三湊
- 問13 平安時代中期、社会の不安や「仏教の教えだけが残り、修行して悟りを開く者がいなくなる」という末法思想が広まる中で、阿弥陀仏にすがって死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰が盛んになりました。この信仰と、それを象徴する建物として藤原頼通が建立した阿弥陀堂の名称の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2017年 大分県公立入試 類似）
1. 禅宗 — 鹿苑寺金閣
 2. 真言宗 — 延暦寺根本中堂
 3. 法華信仰 — 中尊寺金色堂
 4. 浄土信仰 — 平等院鳳凰堂

答え合わせ・解説

問1	答え 3 日本人の感情や思いを表現しやすくなり、物語、随筆、和歌などの日本独自の文学が大きく発展した。	かな文字（仮名文字）の成立は、それまでの漢字中心の文化から、日本の生活習慣や感情に即した「国風文化」への転換を象徴する出来事です。漢字は主に公文書や男性の記録に使われましたが、かな文字によって日常の心情を細やかに表現できるようになり、紫式部や清少納言といった女性作家による文学作品が数多く生まれ、日本独自の文化の土台が築かれました。
問2	答え 1 壇ノ浦の戦い	本州と九州を隔てる関門海峡の山口県側にある壇ノ浦で行われた戦いです。この戦いによって、平安時代末期に大きな勢力を誇った平氏が滅亡し、源氏による武家政権の樹立に向けた大きな転換点となりました。
問3	答え 3 唐の衰退により直接的な交流が減少したことで、日本独自の美意識に基づいた表現が重視されるようになった。	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が停止されたことで、大陸文化の直接的な流入が落ち着きました。その結果、それまで取り入れてきた唐の文化を日本の生活様式や好みに合わせて作り変える動きが強まり、かな文字の使用や寝殿造の建築、和歌の隆盛といった「国風文化」が発展しました。
問4	答え 2 源氏物語	遣唐使の停止によって中国文化の影響が薄れる中、日本独自の感性を表現する平仮名が発達しました。これにより貴族の女性による文学活動が盛んになり、紫式部が『源氏物語』を、清少納言が『枕草子』を執筆しました。選択肢にある『古事記』や『日本書紀』は、律令国家の形成期である奈良時代に編纂されたものです。
問5	答え 2 自らの三人の娘がそれぞれ天皇のきさきとなり、摂政・関白として権力の絶頂に達していた。	この歌は、藤原道長の三女である威子が天皇の中宮（きさき）になった際の祝宴で詠まれたものです。道長は自分の娘を次々と天皇の后にすることで、後の天皇の祖父という確固たる地位を築きました。この満月（望月）に例えた表現は、摂関政治が最も繁栄した時期の様子を象徴しています。道長と、その後の頼通の父子の時代が、藤原氏の全盛期にあたります。
問6	答え 4 極楽浄土の宮殿を模して造られ、阿弥陀如来像が安置された平等院鳳凰堂	平安時代後期、藤原氏の氏長者であった藤原頼通によって宇治に建立されたのが平等院鳳凰堂です。当時流行した「浄土信仰（浄土教）」を背景に、現世に極楽浄土を再現しようとする意図がありました。国分寺は奈良時代、親鸞は鎌倉時代、金閣は室町時代に関連する事象です。
問7	答え 3 菅原道真 ― 国風文化	菅原道真は、唐の衰退という国際情勢を的確に判断し、遣唐使の停止を建議しました。これにより大陸文化の直接的な影響が薄まり、日本の風土や感性に合わせた「国風文化」が花開くこととなりました。かな文字の発明や、住居様式の寝殿造などはその代表的な例です。
問8	答え 1 藤原頼通が建立した阿弥陀堂で、中央の堂の左右に翼を広げたような回廊を配した左右対称の構造を持ち、正面には極楽浄土を模した池が広がっている。	平等院鳳凰堂は、翼を広げた鳥のような左右対称の美しい建築様式が特徴です。建物の前には大きな池が配置されており、これは「浄土庭園」と呼ばれ、当時の人々が理想とした極楽浄土の世界観を視覚的に表現したものです。他の選択肢は、順に中尊寺金色堂、比叡山延暦寺、東大寺南大門の説明です。
問9	答え 1 唐から帰国後、比叡山に延暦寺を建立して、天台宗の教えを広めた。	最澄は天台宗を、空海は真言宗をそれぞれ唐から伝えました。最澄の拠点には比叡山延暦寺、空海の拠点は高野山金剛峰寺です。この区別は入試で非常によく問われるポイントです。
問10	答え 2 平清盛 ― 大輪田泊 ― 宋銭	日宋貿易は、平氏の全盛期を築いた平清盛によって行われました。清盛は現在の神戸市にあたる大輪田泊を国際貿易港として整備し、宋から宋銭や陶磁器などを輸入しました。足利義満が関わったのは室町時代の日明貿易であり、鉄砲の伝来は戦国時代、勘合（符）は明との貿易で偽造を防ぐために使われた道具です。
問11	答え 1 国風文化	遣唐使の廃止などを背景に、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発展しました。これを国風文化と呼びます。この時代、万葉仮名を崩したり一部を取ったりすることで、日本独自の文字である「かな文字」が生まれ、和歌や物語などの文学が発展する大きな要因となりました。
問12	答え 4 十三湊	青森県に位置する十三湊（とさみなと）は、中世において北方貿易の拠点として繁栄しました。ここではアイヌの人々との交易が盛んに行われており、奥州藤原氏の勢力圏やその後の北方の歴史において、人や物の往來を支える重要な役割を果たしました。選択肢の堺は大阪府、博多は福岡県の港町です。
問13	答え 4 浄土信仰 ― 平等院鳳凰堂	平安時代中期には、戦乱や飢饉などの社会不安から「末法思想」が流行しました。これに伴い、念仏を唱えて阿弥陀仏にすがり、死後に「極楽浄土」へ導いてもらうことを願う浄土信仰が、貴族から庶民まで広く浸透しました。摂政の藤原頼通は、この極楽浄土の様子をこの世に再現しようと考え、宇治に平等院鳳凰堂を建立しました。鹿苑寺金閣は室町時代の足利義満による建築であり、延暦寺是最澄が開いた天台宗の寺院です。